

学校現場で新聞の活用を広げ、子どもたちの読解力をはじめ、豊かな語彙力や表現力を育む授業につなげてもらうと、福井新聞社は26日から来年1月まで、福井市の本社でNIE塾を開く。教員の受講者を募っている。

「新聞を気軽に、手軽に教育の場で活用しよう」をコンセプトに、本社の徳島泰彦NIEコーディネーターが講師を務め、2015年度から開いている。原則として毎月第4金曜の午後7時～同8時半に計10回開く予定。

社会の変化に対応する学習内容の開発が急務となっている中で、新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」を取り入れる学習が求められる。新聞は身近な地域の

新聞活用のヒント探ろう



話題や国内外のニュースを網羅しており、子どもたちが地域社会や世界と結びつき、学びの視野を広げる教材として期待が高まっている。

塾では、授業で使えるような記事を選んだワークシート作りや読み比べに取り組み、教科・領域や各単元での授業づくりのヒントにしよう。

26日の第1回は午後7時ス

教員向け「NIE塾」

26日スタート

福井新聞社



ターゲット。記事をもとにクイズを考える「わくワークシート」作りに挑戦する。

事前申し込みは不要で、1回だけの参加も可能。受講無料。問い合わせは、福井新聞

社みんなの新聞部 ☎0776(57)5122。メールは tokushima@fukushima-bun.co.jp。

(山口晶水)

2回目以降の開催予定と内容は次の通り。

- ▽5月24日(「書く伸びノート」で視写してみよう)▽7月6日(第1回NIEセミナー・新学習指導要領とNIE)▽7月23日(社会的課題の記事から読み解こう)▽8月22日(記者の話聞き記事に挑戦しよう)
- ▽9月28日(第2回NIEセミナー・道徳を考えよう)▽10月25日(伝えるためのレイアウトを考えよう)▽11月29日(記事の比較してみよう)▽12月26日(オリジナルの言葉遊びをしてみよう)▽20年1月31日(座談会をしよう)

NIE塾で新聞を活用した授業づくりについて意見交換する教員たち 2017年4月、福井新聞社